JOHN SAWERS

LONDON SPEAKER BUREAU

- **Former Chief of the British Secret Intelligence Service (also known as MI6)**
- **Executive Chairman, Newbridge Advisory**

Topics

- Economics
- Finance
- Future
- Government
- Leadership
- Motivation
- Politics
- Technology

Sir John Sawersは、英国のSecret Intelligence Service（SIS／MI6とも呼ばれる）の元チーフです。在職中、彼は本サービスを近代化し、運営、技術、そして公的説明責任の大幅な変更を通じてそれを導きました。

プレゼンテーションでは、Sawersは過去20年間の最も困難な外交および安全保障政策問題の管理における個人的な経験から、中国の台頭、ロシアの進化、テロおよびサイバー攻撃の脅威などの変化を引き出すことができます。中東、およびイランの核交渉。 BBCは、「複雑な交渉では、問題を要約した健全な咬み合わせを提供する技術を習得しました。」と予測しました。それは彼らのために働くようにすることができます。彼はまた、企業、金融機関、そして政府の指導者たちとの彼の諮問活動を通して、時事問題に深く関わっています。

Sawersは、英国政府に勤務して合計36年間、ダウニング街および外交政策機関と密接な関係を持つ外交官です。彼は数十年でSISに任命された最初の部外者でした、そして彼は公のスピーチをして、悪名高い機関を囲む秘密のベールを持ち上げた最初のヘッドでした。彼は政府機関の仕事を説明するためにメディアに定期的に登場したので、彼は前例のない公開性をその役割に持ってきたことをおそらく覚えているでしょう。

Sawersは、1977年にMI6でイエメンとシリアで奉仕しました。彼はそれからMI6を去り、外務省に加わり、そして急上昇した。彼は1998年まで南アフリカ、EU、そしてワシントンDCで奉仕しました。地政学的には、その時代はボスニアでの戦争、中東での危機、そして欧州連合に関するイギリスでの議論によって支配されていました。

その後、SawersがTony Blairの外交顧問を務め、コソボ戦争を含む期間をカバーしました。彼はまた北アイルランドの交渉および聖金曜日の協定の実施に貢献しました。彼は2001年から2003年までカイロの大使を務め、イラク侵攻後3ヶ月間バグダッドの特使であった。彼は2003年から2007年までのイラク紛争の最盛期に4年間外務省の政治部長を務めました。彼はその後2007年8月にニューヨークの国連の英国の常任代表になりました。そこで、彼はイラン、北朝鮮、および中東の主要決議において中心的な役割を果たしました。彼は2009年にMI6の新首長になるためにタップされるまでそこに勤めました。彼は1968年のサー・ジョン・レニー以来、サービスの外から任命された最初のMI6首長でした。

Sawersは国家安全保障への奉仕のために2015年新年の栄誉で聖ミカエルと聖ジョージの騎士グランドクロス（GCMG）に任命されました。 SISのチーフとして引退した後、彼はMacro Advisory Partnersのパートナー兼会長になりました。これは投資家や政府に戦略的アドバイスや洞察を提供する地政学的アドバイザリー会社です。彼はまた、キングスカレッジロンドンの戦争学科の客員教授になりました。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988